

28年度新規事業の主な内容

事業名	内容【予算額(千円未満を四捨五入)】
ふるさと応援寄附金業務事業	ふるさと納税返礼品などの見直しを検討【60万円】
公共施設等統合管理計画策定事業	財政負担を軽減・平準化するため、公共施設などの全体を把握し、長期的視点で更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行う業務の委託【2,712万円】
経営委託部分林苗木購入費	関沢山国有林分収造林契約に係る苗木を購入【259万円】
定住情報発信事業	市への移住を促進するため、移住ツアーを実施し、魅力を発信【710万円】
再生可能エネルギー推進事業	先進地視察や地熱活用施設整備の検討を行い、施設整備工事を実施。地熱資源開発としてボーリング調査を委託【2億4,745万円】
空家対策事業	空家などの実態調査を行い、空家等データベースを作成【613万円】
臨時福祉給付金等給付事業	「簡素な給付措置」に対応する経費。市民税(均等割)の非課税者1人につき3千円、65歳未満の障害年金・遺族年金受給者は3万円加算【4,458万円】
保育対策総合支援事業費補助金	保育体制強化のため、保育士資格がない人を雇用(配膳、昼食準備、片付け、遊具消毒)した場合の支援補助金【324万円】
家庭的保育支援事業	家庭的保育を行えるよう研修会を開催するための経費【68万円】
保育所等整備補助金	杉の子保育園の改修工事に係る補助金【1億6,605万円】
子ども医療費助成費	児童に対する医療費助成を中学生まで拡大して実施【4,823万円】
東八幡平病院施設等整備事業費補助金	新病棟の増築と既存施設の改修にかかる建物建築補助【3億円】
米穀品質向上支援対策事業費補助金	新しい食味分析器の導入、データ処理パソコン購入を補助【210万円】
産地パワーアップ事業助成金	収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、計画の実現に必要な農業機械のリース導入や施設の整備に係る経費などを支援【4,850万円】
市ブランド牛地域一貫生産緊急導入奨励事業	市で生産された和牛子牛を肥育農家が導入した際に助成【375万円】
小水力発電事業費補助金	松川土地改良区小水力発電事業実施への補助【1,080万円】
御在所地区観光施設整備事業	岩手北部森林管理署から借り受けている御在所地区トイ駐車場敷地を取得。冬の山スキー拠点として活用するための経費【1,997万円】
次期最終処分場整備に伴う地域振興策事業	産業廃棄物処理施設整備における県の支援事業(市道新時森線、市道時森線外、市道柘沢線大橋橋りょう整備など)【5,600万円】
市営町裏住宅建設事業	既存の町裏住宅の解体4戸、建替整備2棟4戸を実施【1億2,346万円】
消防団員防火衣等購入費	各分団に3着の防火衣・防火帽・防火長靴・防火手袋を購入【1,979万円】
防災マップ作成業務委託料	自然災害に対応した防災マップを作成【635万円】
防災行政無線システム整備事業	デジタル無線に対応した防災行政無線の整備に向けての実施設設計業務【1,286万円】
給水車購入事業	災害などによる断水事故発生時に給水活動を行う給水車を1台購入【1,540万円】
防犯カメラ購入費	子どもの安全を確保するため、小・中学校に防犯カメラを設置【290万円】
スクールバス購入費	安代地区スクールバスを1台購入【750万円】
大更小学校トイレ改修工事	大更小学校のトイレ改修工事【5,147万円】
西根地区小学校教育用パソコン購入費	西根地区小学校5校のパソコンの更新、タブレットの導入費用【2,553万円】
ラグビーワールドカップ等キャンプ地誘致事業	2019年ラグビーW杯のキャンプ地誘致に向けた活動経費【284万円】
全日本マスターズスキー選手権市実行委員会補助金	29年3月開催予定の同大会開催に係る補助金【250万円】
いこいの村岩手体育館照明改修工事	いこいの村岩手体育館をLED照明に改修【1,392万円】
芝管理用機器購入費	ラグビーグラウンド整備用に乗用芝刈機2台を購入【1,501万円】

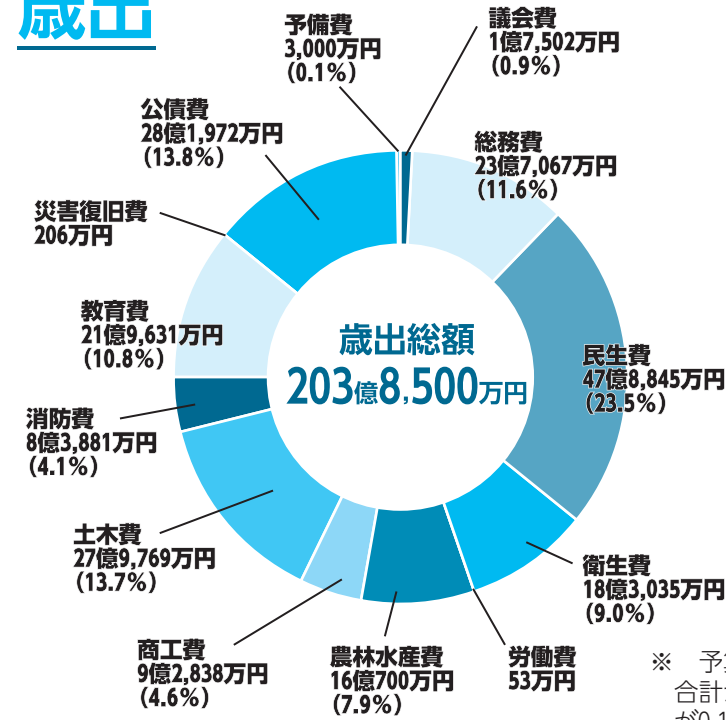
平成28年度一般会計予算は 203億8,500万円

平成28年度の予算が、市議会第1回定例会最終日の3月25日に可決されました。一般会計の予算総額は、27年度予算と比較し、11億500万円(5.7%)増の203億8500万円で、合併後最大となります。今号では28年度一般会計予算の概要を紹介します。

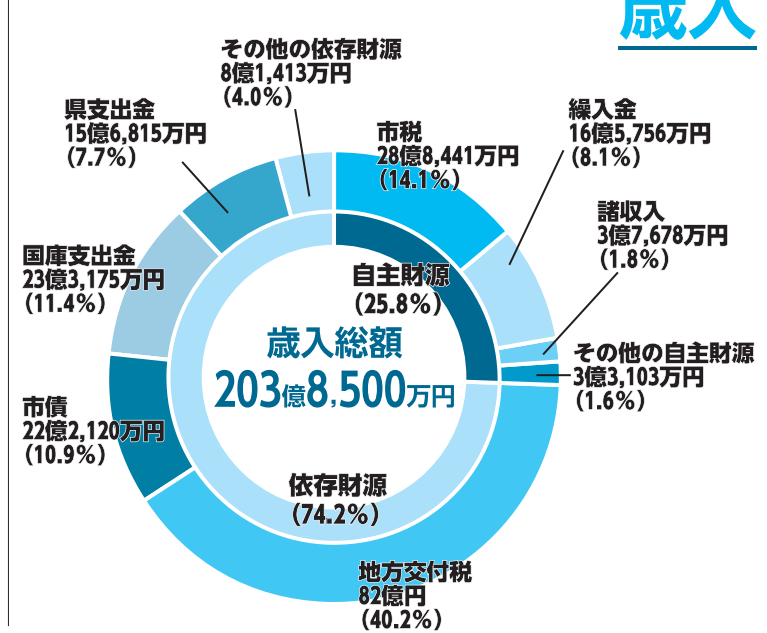
平成28年度と27年度の市当初予算(会計別総額、1万円未満四捨五入)

会計別	28年度当初予算	27年度当初予算	
一般会計	203億8,500万円	192億8,000万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	37億5,009万円	38億7,704万円
	後期高齢者医療	2億5,128万円	2億5,728万円
	国民健康保険(診療施設勘定)	2億9,206万円	3億184万円
	公共下水道事業	5億8,363万円	5億3,558万円
	農業集落排水事業	5億5,192万円	5億5,039万円
	浄化槽事業	7,761万円	6,201万円
企業会計	水道事業	収益的収入 6億6,021万円 収益的支出 6億4,971万円 資本的収入 4億5,407万円 資本的支出 7億4,958万円	6億1,794万円 5億8,245万円 2億275万円 4億1,104万円
	西根病院	収益的収入 8億1,707万円 収益的支出 8億7,105万円 資本的収入 1億7,600万円 資本的支出 1億7,720万円	8億994万円 8億5,611万円 8,810万円 8,848万円

歳出



歳入



* 予算額は1万円未満を、割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。また、歳出の労働費と災害復旧費は、割合が0.1%未満となるため、割合の表記を省略しています。

歳入

平成28年度の一般会計の歳入・歳出の内訳を上の円グラフに、会計別の予算額を次のページの上段に示します。一般会計の予算総額は、203億8500万円で、歳入・歳出の概要は次のとおりです。

一般会計の歳入で最も多くを占めるのが、地方交付税の82億円(構成比40.2%)です。地方交付税は、これまでの実績などから、前年度に比べ2億円(2.5%)増額しています。

次いで多くを占めるのが市税で、固定資産税の減などを見込み、28億841万円(14.1%)となっています。3番目に多い国庫支出金は、保育所等整備交付金の増などにより、前年度に比べ2億4521万円(11.8%)増の23億3175万円が計上されています。

歳出

歳出は、前年度に比べて大きく増減があった科目について説明します。衛生費は、老朽化した簡易水道の小規模施設を統合管理するための配水池と管理棟建設工事の出資や民間医療施設建設補助などにより、4億4921万円(32.5%)増の18億3035万円となっています。

労働費は、前年度で震災等緊急雇用となっていました。

対策事業費補助金の制度が終了したため、4466万円(98.8%)減の53万円となりました。

商工費は、八幡平温泉郷引湯管と貯湯槽整備などにより、3億8739万円(71.6%)増の9億2838万円となります。

なお、地方債については、プライマリーバランスが黒字になる見通しです。実質公債費比率は、26年度決算で10.3%となっており、起債に県知事の許可が必要となる基準の18%を下回り、年々改善の傾向となっています。

市は、今後も財政指標を注視しながら、将来負担が過大にならないよう計画的な財政運営に努めます。

詳しくは、市役所企画財政課財政係(☎・内線1202)まで。

用語解説

▼一般会計＝市税や地方交付税を主な財源として、道路や水路の整備、福祉や教育など、さまざまな分野の事業やサービスをを行うための会計。そのほかに国民健康保険などの特定事業を行うための特別会計や公営企業が行う企業会計(水道事業、西根病院)があります。

▼プライマリーバランス＝基礎的財政収支。地方債発行を除く収支などの正味の歳入と公債費(元金償還額分のみ)を除く歳出との収支。

▼実質公債費比率＝地方債の償還金を標準財政規模で割ったもので、通常過去3年間の平均値をとります。

歳入のおおまかな内容

- ▶市税＝市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税
- ▶緑入金＝積立金の取り崩しや、ある会計から別な会計に繰り入れるお金
- ▶地方交付税＝所得税など国税から財政状況に応じて交付されるお金
- ▶市債＝建設事業などを行うために市が借りるお金
- ▶国庫(県)支出金＝特定の行政目的を達成するため、その経費に充てることを条件に国(県)から交付されるお金

歳出のおおまかな内容

- ▶議会費＝市議会の運営のために使うお金
- ▶総務費＝行政全般の事務に関する経費、財産管理などに使うお金
- ▶民生費＝障害福祉や高齢者・子育て支援、生活保護などに使うお金
- ▶衛生費＝予防接種、健康診断、ごみ処理などに使うお金
- ▶労働費＝雇用確保のための作業員賃金や委託費用など
- ▶農林水産費＝農業や林業振興などに使うお金
- ▶商工費＝商工業の振興や観光イベントなどに使うお金
- ▶土木費＝道路補修や除雪、市営住宅管理などに使うお金
- ▶消防費＝消防署の経費の負担や消防団員の報酬、消防車両の購入などに使うお金
- ▶教育費＝小・中学生などの教育のために使うお金
- ▶災害復旧費＝公共土木施設などの災害復旧のために使うお金
- ▶公債費＝市債(借入金)を返済するために支払うお金